

BIG AKITA

Business Information Center

元気な企業を応援する
ビジネスマガジン
ビックあきた
公益財団法人
あきた企業活性化センター

09
2021 vol.482

経営探訪 ● 秋田マテリアル株式会社

“夢を持って働ける会社”を目指す

- 04 センター活用事例
【OCEAN CAFE HONU】
- 05 センター活用事例
【道の駅象潟 ねむの丘】
- 06 オンリーワン企業紹介
【BRUSH&COFFEE HAUNT】
- 07 主催事業報告
- 08 経営サプリメント
- 10 お知らせ



BIG AKITA
482
2021.09

ビックあきた vol.482 2021年9月31日発行 編集・発行/公益財団法人 あきた企業活性化センター 〒010-8572 秋田県山形三丁目1番1号 TEL.018-860-5610 FAX.018-863-2390
本誌は、賛助会員への配布となっております。購読を希望される場合は、上記までお申し込みください。



あきた起業家交流フェスタ 2021

秋田ではじめましたマルシェ | AKITA ENTREPRENEUR EXCHANGE FESTA 2021



出展の詳細情報
申込みはこちら

- 出展募集数 | 先着 35 組
 - 出展料 | 1組 1000 円
- 県内に拠点を構え起業している、準備中の方（起業 10 年以内）

作り手に会える展示 & 販売会。
「秋田でビジネスをはじめました」「独立に向けて準備中です」という起業家・自営業・個人事業主 etc...。メイドイン秋田の素敵な商品やサービスが勢揃いする特設マルシェ。作り手本人にも出会える展示 & 販売イベントです。



先着
35 組
**出展者
募集**

すでに起業している方はもちろん、
これから始めようとしている方も参加 OK!
自分の商品やサービスを販売できる
マルシェで PR してみませんか?

2021 10/27 WED
OPEN | 13:00 → 16:00

同時開催 | 秋田県先輩起業家表彰式
PLACE | 秋田拠点センター ALVE 1F きらめき広場



「リユース部品の選別が重要なポイント」と解体を進める入社10年目の木内さん。

秋田マテリアル株式会社

経営探訪

“夢を持って働ける会社”を目指す

資源リサイクルの効率化や廃棄物の有価物化に取り組み業績を上げてきた企業が、ドローンスクールを開校。若き社長が抱く地域の未来への思いを伺った。

▶▶ 循環型社会の構築に貢献

再生資源の回収・加工・販売や、産業廃棄物の収集運搬と中間処理、古物商を行うにかほ市の秋田マテリアル株式会社は、業務用コピー機の廃トナーなどのリサイクルを主事業として2007年に創業した。現代表取締役の佐藤佑介さんは、2008年に現場作業員として入社し、前社長が立ち上げた金属スクラップ事業に主体的に関わった。自らインターネットや売却先から学び、スクラップ事業の知識を社内に共有。前社長が大手の取引先を開拓する傍ら、回収先や販売先を率先して増やし、設備や人材の導入に頼らない事業拡大と業務改革に取り組んだ。そのやる気と功績が認められ、入社5年目に専務に就任。6年目から代表取締役を務めている。

同社では、〈回収の効率化と廃棄物の有価物化〉をモットーに、収集運搬から売却までをワンストップで行う。スクラップを回収して売却先に向かう道中でも飛び込み営業を行い、同業他社が扱わない廃棄物を引き受けることで新規顧客を開拓してきた。回収した装置類は顧客の機密保持のため手作業で確実に解体し、選別して部品のリユースにつなげている。実績を積み上げながら徐々に取引を拡大し、代表就任時に1億円だった売上高は、今や3億5千万円にのぼる。

「当初は自分の考えだけで突っ走っていましたが、ようやく、社員への目配りや長期的な事業計画の策定ができるようになりました」と佐藤社長は話す。

▶▶ 新事業で地域の課題解決を

同社では、2022年に導入される見込みのドローン操縦の免許制度を見据え、今年4月に、にかほ市のインキュベーション施設「わくばにかほ」内に「JUAVACドローンエキスパートアカデミー秋田校」を開校した。空撮、測量、農薬散布などの分野での活用が進むドローンは、人口減少による人手不足という地方が抱える課題の解決策としても、ますます需要が高まることが見込まれる。同校では各専門分野の実践的なカリキュラムを揃え、ドローンを身近に感じてもらうため、プログラミングとドローン飛行の体験会なども企画している。

「ドローンは年齢性別や障害の有無などにかかわらず皆で楽しむことができます。ドローンサッカーやドローンファイトなどの遊びを通して、子どもの頃からドローンに親しみ、大人になったら仕事のツールとして各分野でドローンを活用して次世代に伝えていく、そんな循環をつくって、地域課題の解決と地域活性化につなげていきたいと思っています」。



①リフティングマグネット装着の重機で大きな廃棄物の解体や移動も可能。
②整理・整頓が行き届いた事務所内。月に一度の環境整備点検日を設ける。
③短期～中期経営計画を策定。全社員が自社の数値目標を把握できるように。

▶▶ 地域を盛り上げる力に

佐藤社長は、年度初めに「経営計画発表会」を行うほか、懇親会の定期開催などユニークな取り決めも記した手帳サイズの「経営計画書」を全社員に配布し、意見交換の場として定期的な勉強会を設けている。また、整理・整頓・清潔を保つ「環境整備」も重視し、各部署で計画を策定し定量評価を行うPDCAサイクルを取り入れ、業務を効率化している。「計画と目標を共有し、環境を整えたいうえで具体的なゴールを提示しますが、ゴールにたどり着く方法はチームに任せています」。

現在、新卒採用にも力を入れており、地域の学校の会社見学会なども開催。「リサイクルや産業廃棄物の処理は必要不可欠な仕事なので、若い人たちにも選んでもらえる業界に変えていきたい。世界にも通用するリサイクル率の高い先進的な拠点を作って、各地に展開していくことが将来の目標です。当社の経営理念は『BE HAPPY』。社員満足度と顧客満足度を高めて、夢を持って働ける会社でありたいと思っています。若い人たちの雇用を増やして、にかほ市を盛り上げていきたいです」。



④



⑤

④知識豊富な講師陣が資格取得と技術向上をサポート。
⑤広い体育館とグラウンドで初心者でも安全に飛行練習ができる。

若い世代に選ばれる会社を目指し、地域を盛り上げたいです。



代表取締役 佐藤 佑介
さとう ゆうすけ

秋田マテリアル株式会社

〒018-0402 秋田県にかほ市平沢字深谷地16-8 (本社)
TEL.0184-74-5277 FAX.0184-74-5278 <https://akita-material.com>
創業/2007年 資本金/2,500万円 従業員数/23名
業務内容/再生資源(金属、プラスチック等)の回収・加工・販売
産業廃棄物の収集運搬、中間処理、古物商



Point
知財・デザインについて的確にアドバイスをいただくことができ、お店のPRにつながりました。

畑澤 夏穂
はたさわ なつほ

男鹿の新たな絶景スポット 知財・デザイン支援で効果的にPR

全席オーシャンビューのハワイアンカフェ

2020年8月にオープンしたオーシャン カフェ ホヌ。ハワイアンミュージックが流れる店内の全席から戸賀湾が一望でき、夕方には鮮やかなピンク色に染まる海を望むことができる。オーナーは、自身もよくハワイを訪れているという畑澤夏穂さん。「ハワイの海も有名ですが、男鹿の海も同じくらい綺麗。海外まで行かなくても、近場でリフレッシュできる場所ができたと思いオープンしました」。メニューは、戸賀湾をイメージした爽やかで飲みやすいオリジナルブレンドのコーヒーやノンアルコールカクテルなどのドリンクの他、ハワイアンクッキーやケーキなどのスイーツを用意。今後はランチなどのフードメニューも提供予定だ。

センター活用で集客力をアップ

畑澤さんは昨年、商標出願についてセンターの知財総合支援窓口にご相談。サポートを受けながら商標クリアランス調査*をし、弁理士相談も活用して自身で手続きを行い、店名を含むロゴマークを商標登録した。また、近隣施設からの誘客を狙ったポスター制作の際には、デザイン支援を活用。アドバイスのもと、カフェからの眺望を中心とした構成とし、掲示場所とターゲットを意識したデザインに仕上げた。「専門家がサポートしてくれるので知識がなくても安心。センターに相談して本当に良かったです」と畑澤さん。カフェのオープン地域の人々も喜んでいて、「今、東北の魅力を伝えよう頑張っている人たちが増えてきているので、コロナ禍が収束したら県外、そして海外にも男鹿の素晴らしさを広めていきたい。地域の活性化に少しでも貢献できたら嬉しいです」。

* 第三者の商標に係る権利を侵害していないかを確認する調査のこと

活用事例 | 知財の総合支援窓口

特許や商標などの知的財産の出願・権利化、技術ノウハウ等の知的財産の秘匿管理、知的財産のビジネス活用などに関するお悩みや課題の解決を支援します。

産業デザインに関する助言

産業デザイン、製品開発、マーケティング等についての専門的な助言や、デザイナーとのマッチング、コーディネートを支援します。

【お問い合わせ】 知財・デザイン支援課 TEL.018-860-5614

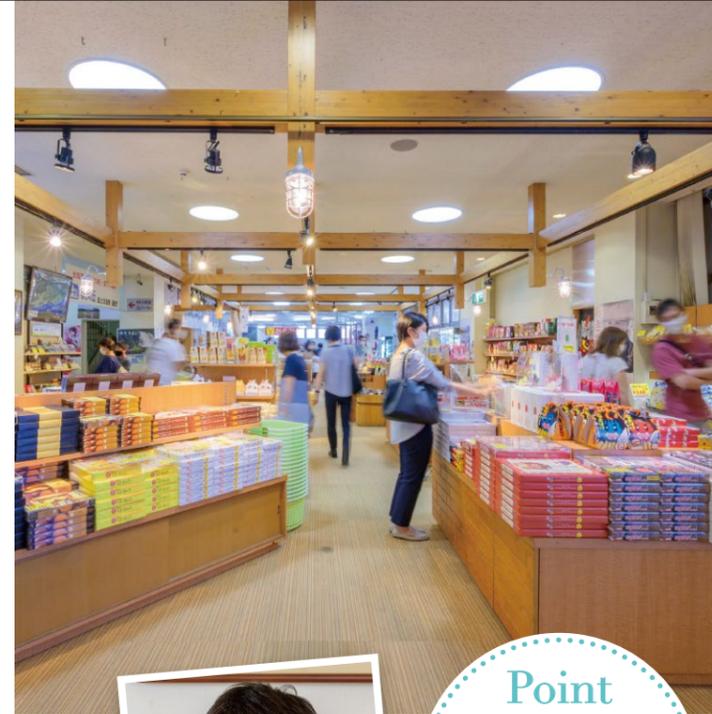
センター活用事例 [商標出願・デザイン]

OCEAN CAFE HONU
オーシャン カフェ ホヌ
〒010-0672 秋田県男鹿市戸賀浜塩谷字大水沢1-6
営業時間 / 土日祝12:00~18:00 ※時期(日没時間)によって閉店が早まる場合あり
営業期間 / 5~11月(予定)

Ocean Cafe Honu (@oceancafehonu)



ポスター



Point
専門的な視点からの提案と伴走支援で、課題解決への大きな一歩を踏み出しました。

総務物産課長 阿部 勇樹
あべ ゆうき

センター活用事例 [店舗改善]

道の駅象潟「ねむの丘」
〒018-0121 秋田県にかほ市象潟町字大塩越73-1
TEL.0184-32-5588(代) FAX.0184-32-5677
営業時間 / 9:00~21:00 ※各施設によって異なります。
定休日 / 全館休業 12月~3月 第3日曜日(変更になる場合があります)
展望温泉休業 7月・8月を除く第3日曜日(祝日の場合は翌日)
<https://www.kisakata.nemunooka.jp/>



鳥海エリアの観光拠点0円店舗改善でリニューアル

地元客も楽しめる充実の施設

にかほ市象潟の「ねむの丘」は、約2万坪の敷地に、物産館、レストラン、宴会場、展望塔、そして日本海を望む展望温泉を備える東北最大級の道の駅だ。無料の展望塔からは、鳥海山や天然記念物の九十九島、男鹿半島や飛鳥まで360度のパノラマを堪能することができる。2014年に県内初の「重点道の駅」に選定され、2016年にはにかほ市観光拠点センター「にかほっと」、源泉掛け流しの無料足湯「あしほっと」をオープン。環鳥海地域の情報発信と観光の拠点機能をさらに強化した。物産館では、にかほ市と包括連携協定を締結しているアウトドアブランド「モンベル」の商品を豊富に揃えるほか、地方では入手しにくい「生食パン」の定期販売を行うなど、地元客にも人気が高い施設だ。

大規模改装で経営改善を目指す

ねむの丘では、ウイズコロナでの売り上げ回復策についてよろず支援拠点へ相談し、その一環として物産館の大規模なレイアウト変更を実施した。現地でのヒアリングによりコーディネーターが課題を抽出し、温泉客と買い物客との動線の整理と、混雑緩和と買い物客誘導のためのレジ位置の変更を中心としたプランを提案。「現場スタッフの意見やアイデアも取り入れた提案をいただき、納入事業者さんへの事前説明会もサポートしていただきました」と話すのは総務物産課長の阿部勇樹さん。改装後は同じ売り場とは思えないほど開放感が生まれ、お客様の評判も上々だという。「無料でサポートが受けられるので、取引先の事業者さんにもよろず支援拠点への相談を勧めています。今後はデータや状況を見ながら売り場の調整を続け、効果的な情報発信にも取り組んでいきます」。

活用事例 | 秋田県よろず支援拠点

幅広い経営知識と高い専門性を有するコーディネーターが、相談者の課題を抽出把握して、課題解決を目指した提案に基づきチーム支援します。

【お問い合わせ】 秋田県よろず支援拠点 TEL.018-860-5605

ONLY ONE

オンリーワン企業紹介

習字と コーヒーで再生する 地域の集い場

HAUNT(ハウント) = 人が足しげく通う場所、つまり「地域に誰でも気軽に通える喫茶店」とオープンしたここでは、子どもから大人まで幅広い世代が集まる。

地域の人の“行きつけの場所”に

2020年4月、北秋田市の旧合川町に、習字教室を併設する珍しいカフェがオープンした。既存の建物の土間部分をカフェに、小上がりを教室スペースにリノベーションし、かつて地域の人々が集った食堂が、カフェ&習字教室に生まれ変わった。「気軽に行ける喫茶店が地域に欲しかったのですが、カフェだけでは経営が不安で。習字教室を併設すれば経営が安定するのではと思ったんです」と話すオーナーの森岡恵理奈さんは、書道の段位を持つ二児の母。ネットで検索しても、幼児や低学年の子を受け入れている近隣の教室が見つからなかったため、カフェに習字教室をプラスすることで開業を決めた。

教室には幼児から成人まで広い世代の生徒が市内全域から通ってくる。カフェでは、付き添いの大人が子どもを待ち、教室が終わった大人は今日の出来栄を振り返る。地域の小学生は友達と連れ立って自転車で集まってくる。「子どもだけで来られる、安心できる場所にしたいです」と、地域と一体の店づくりに力を注ぐ。



森岡さんがしたかったこと。地域の人々が欲しかったもの。みんなの思いを叶える森岡さんの努力と発想が、地域に活力を生み出した。

BRUSH & COFFEE HAUNT ブラッシュ&コーヒー ハウント

〒018-4211 秋田県北秋田市川井字鳥屋沢34-1 TEL.0186-67-8083
営業時間/カフェ 10:00~16:00(L.O.15:30) 習字教室 15:30~19:00
定休日/日曜・月曜・祝日

恵 @haunt.aikawashuji

●会社概要 カフェ、習字教室

森岡 恵理奈

もりおか えりな



主催事業報告

経営課題解決セミナー & 無料個別相談会

7月30日、秋田県よろず支援拠点と秋田商工会議所の共催で、秋田市にぎわい交流館AUを会場に経営課題解決セミナーが開催された。講師に合資会社寺田屋代表の寺田匡宏氏、ファオラ代表の稲葉江津子氏を迎え、経営課題解決のヒントとなる事例や企業経営の姿勢・考え方等を共有。セミナー後は希望者を対象とし、売り上げ拡大や販売促進方法、経営改善・事業再生等について、無料の個別相談会が行われた。



講師

寺田 匡宏氏

てらだ まさひろ



青森県出身。1992年、Apple正規販売代理店として有限会社マックブレインを設立。秋田市の製版会社を経て、2005年、中小企業の販促支援を目的に合資会社寺田屋を起業。これまでに約150社を支援した実績をもつ。よろず支援拠点コーディネーター。

県内企業の事業転換とその事例

～経営資源を生かした第二創業～

はじめに事業転換で成功した事例をもつ国内の大手企業数社に触れ、「第二創業とは、自社の経営課題を解決するために新たな事業に取り組むこと」として、氏が支援し経営課題を解決した県内企業の事例について紹介。企業存続の選択肢として、経営課題の分析と経営資源の最大化を図る重要性を説き、高付加価値の提供でニッチ市場でのシェアナンバーワン獲得が必要とした。さらに「良い商品や技術を持つことだけでなく、社員を大切に守るという経営者の覚悟と責任が何より大事。経営者の姿勢に社員もついてくる」と述べた。最後に、ウイズコロナ時代において「今を現状分析の機会と捉え、自社で何ができるのかを見つめ直し、コロナ収束後に顧客に選ばれる企業となるよう準備をしてほしい」と締めくくった。

講師

稲葉 江津子氏

いなば えつこ



秋田県出身。1989年、「クチュール7」を設立。洋服のオーダー仕立てや銀座ブティック数店舗との洋服リフォームを手掛ける。1998年に渡仏、パリコレや東京オリンピック招致に携わる。2016年ファッションブランド「PHAORA」を設立。

グローバル発想の考え方

～時代の変革期に必要な発想転換力～

秋田の服飾専門学校を卒業後、上京。東京で独立し、その後単身でフランス・パリへ。15年以上にわたる海外生活の中で直面した問題とその解決方法について、自身の経験を語った。今後ますます進むグローバル化社会において、「以前と同じ考え方では同じ行動、同じ結果となる」とし、「日本人は、相手の気持ちを先回りした思い込みによって行動を遅らせ、まだ起きていない問題の対応策に多くの時間を費やしている。常識を疑い、自分の枠からはみ出す考え方が発想転換のきっかけになる」と述べた。後半は、フランスへ進出した県内企業を紹介。「自社商品をそのまま売り込むのでは上手くいかない。海外へ向けた大胆な工夫と日本文化をアピールする要素を融合させることが大事」と話した。

参加者の声



株式会社山田相談薬局

専務 山田 賢一氏
やまだ けんいち

当社は、お客様で130年以上地域の皆様に寄り添い、健康のお手伝いをさせていただいている薬局です。医薬品小売業界の主流がドラッグストアとなる中、個人薬局が生き残るためには差別化とブランディングが必要であると考え参加いたしました。

寺田様のお話では、親族内事業承継後に新社長が強みであるIT技術を活かし販路拡大した事例があり、今までの経営とこれからの経営を融合する大変良い参考になりました。また何よりも経営者の覚悟と責任が大事だと気付かされました。稲葉様のお話は、フランスでのご経験から、文化や習慣だけでなく物事に対する考え方と視点が違う事へ気付き問題を解決された事例で、経営も多角的視点や発想の転換が必要であると改めて感じました。



秋田県よろず支援拠点コーディネーター
広瀬 典子 ひろせ のりこ
 岐阜県出身。
 アパレル会社やインテリア店などの現場勤務後、
 空間コーディネーターとして活動。
 令和2年から秋田県よろず支援拠点で、お金を
 かけない売場のリノベーションや陳列など「0円
 店舗改善」で商業店舗の改善を行っている。

コロナ禍だからこそ出来る お店のセルフチェック

お店のセルフチェックをして、自分のお店を見つめ直してみましょう。
 コロナ禍の今だからこそ出来る、「気付き」からの「改善」をナビゲートします。

まず、その「気付き」とは

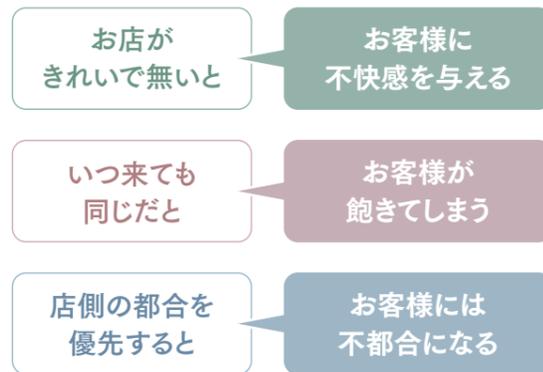
気付きの原点

- ① お店はきれいですか？
- ② 何年も同じ状態ではないですか？
- ③ 自分たちの都合の良いように物を置いていませんか？

あなたのお店はどうですか？一つでも心当たりがあれば、少し気にかけてみましょう。もし、全部当てはまってしまっていたら早急な改善が必要です！

「気付き」がない場合の不利益とは？

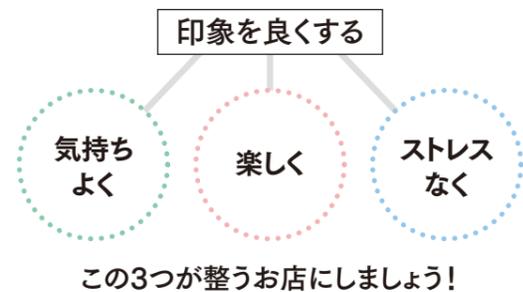
「気付き」を知らずにいると、こんなにお店にとって不利益なことが生まれています。



このような印象のお店にお客様は来店されるでしょうか？ せっかく足を運んでくださるお客様には『気持ちよく』『楽しく』『ストレスなく』滞在してほしいですね。

集客に大切な「印象」とは？

お店の集客で最も効果的なのは、口コミです。
 皆さまも新しいお店を探るときは、情報を探すと
 思いますし、いいよ!と聞いたら行きたくなりますよね。
 逆に、良い評価ではなかったら行く事もなく、さら
 には行ってもいないのに、良くないのだと思い込ん
 でしまいませんか。
 それだけ「印象」というのは大事なのです。



では、どうすれば印象を良くできるのか？

気付きの原点から、改善策を探ってみましょう。

お店が汚れている → お掃除しましょう

天井や床、商品状態、そしてレジ回り。お客様は意外に色々な所を見えています。商品に埃が被っていたら拭きましょう。意外に気付かないのがレジ回りです。不要な書類、小物が雑多になりがちですので、意識的に整理整頓しましょう。

気持ちよく



楽しく

いつ来ても同じ → 商品陳列に変化を

自分たちが気付かないうちに、商品の位置が固定されがちです。商品は、仕入れて、販売して流れていく流動的なものです。その間である店内の中でも動きを止めてはならないのです。商品は常に色々な場所に展開させて、お客様に見てもらい、知ってもらいましょう。

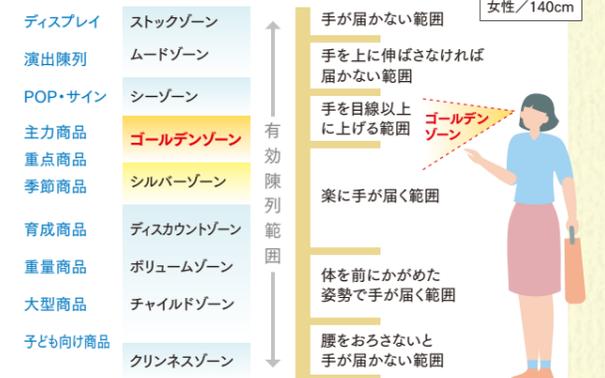
店側の都合を優先 → お客様が主役です

毎日の流れの中で、お店は自分たちがやり易いように作られてしまっています。お客様にとってそれは、選びづらさや、居心地の悪さになっているのです。

例えば、商品陳列量。収納場所の不足や、ストック補充を省くためなどの理由で、全部店頭に陳列していませんか？陳列量が多すぎると、お客様にとって見づらだけでなく、商品のビジュアルも損ねてしまっている場合があります。商品のビジュアルを引き立て、お客様が見やすい陳列を目指しましょう。

ストレスなく

売り場での商品陳列ゾーンと演出効果



このような少しの気付きで、今より、より良くお店を活性化することができます。お客様の目線になって、広くしっかりと店内を見つめなおしてみましょう。よろず支援拠点では、お店も気持ちも変わる「0円店舗改善」のお手伝いをしています。アフターコロナのために、今、はじめてみませんか。ご相談お待ちしております。

生産現場の改善入門講座

[秋田開催]

中小企業大学校で実施している研修を秋田県内で受けることができます。
生産現場の改善を学ぶ機会としてぜひご活用ください。

研修のポイント

- ✓ 生産現場の改善手法の基礎を学びます
- ✓ 他社の事例から成功要因を理解します
- ✓ 自社の生産現場の改善活動について、専門家のアドバイスをもらいながら今後の取り組み方を検討し、お持ち帰りいただきます

研修期間 2021年10月20日(水)～22日(金) 全3日間(16時間)

対象者 製造部門・生産管理部門の管理・監督者、リーダー、担当者等

定員 15名 **受講料** 25,000円(税込)

会場 秋田県教育会館(秋田市山王4-4-14)
無料駐車場あり

講師

R・Cコンサルティングオフィス
代表 中小企業診断士
佐藤 勝幸 (さとう かつゆき)

10/20(水)
13:30～17:30

1. 生産現場改善の基礎知識

- 現場改善の意義と目的
- 現場リーダーに求められる役割とは
- 生産管理と改善手法の概要
- QCDの視点から見る改善事例

10/21(木)
9:30～16:30

2. 成果を高める改善手法とその実践方法

- 生産現場の問題点を発見する着眼点
- 改善手法の手順と実践ノウハウ
- 生産効率を高める決め手
- 製造現場のコストダウンの具体策
- 作業者のやる気を高めるコツ
- 改善活動を定着化させる仕組み

10/22(金)
9:30～16:30

3. 自社の改善活動プランの検討(演習)

- 自社の生産現場の現状と課題
- 今後の改善活動に向けた検討
- 担当講師からのアドバイス

*カリキュラムは都合により変更する場合がございますので予めご了承ください。

フォローアップ講座も開催予定

WEBにて申し込み

お申し込み・お問い合わせ 中小企業大学校 仙台校研修担当

FAX・郵送にて受付

〒989-3126 宮城県仙台市青葉区落合4-2-5
TEL.022-392-8811 FAX.022-392-8812



県外出張等から帰県した従業員等が受ける

PCR等検査の費用を補助します

補助対象

県内に本店または主たる事業所を有する中小企業者(個人事業主を含みます)
※農林漁業、金融保険業、医療業、社会福祉・介護事業・風俗営業など一部の業種を除きます。

補助対象となる検査

次のすべてに該当する検査となります。 ※自ら検査キットを購入して検査を受けた場合は対象外です。

- 経営上必要な県外出張等から帰県した従業員等が、帰県後5日目以降に受けた検査
- 発熱や咳など新型コロナウイルス感染症を疑う症状のない従業員等が受けた検査
- 自費による検査(行政検査や医療保険の適用が受けられる検査は対象外)
- 県内の自費検査可能な医療機関で受けた検査(PCR検査、LAMP法検査及び抗原定量検査に限ります。)



補助率・限度額

- 検査費用の1/2以内
- 1検査(検体)当たり1万円を限度とし、1事業者当たり20検査(検体)を上限とします。

お問合せ先

検査を実施する医療機関のご紹介

一般社団法人秋田県医師会
TEL.080-9401-8231(土日祝日を除く8:30～17:15)
E-Mail: info@akita.med.or.jp

補助制度について

秋田県産業労働部地域産業振興課
TEL.018-860-2231
詳しくは県ウェブサイトをご覧ください▶



心強い味方が
加わりました

秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点 新任マネージャーのご紹介

New Face

マネージャー 佐藤 隆夫 さとう たかお



県内企業の発展に貢献したい!

40年間金融機関に身を置きながら、様々な企業の方とお会いし勉強させていただきました。

いまだに皆様からは、新たな発見や刺激を頂戴しております。
人一倍好奇心の強い人間ですが、社会人として地域の発展にぜひ貢献したいと思った初心を思い返し、人材という資源を橋渡しすることで県内企業の発展に貢献できるよう努力します。

秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点では、地域の関係機関等と連携しながら、地域企業の「攻めの経営」への転身を後押しするとともに、それを実践する経験を積んだプロフェッショナル人材とのマッチングを、民間人材ビジネス事業者を活用しサポートしていきます。

お問合せ

秋田県プロフェッショナル人材戦略拠点

(公益財団法人あきた企業活性化センター内)
TEL.018-860-5624 FAX.018-860-5612
E-Mail projinzai@bic-akita.or.jp